



埼玉県立大学 地域包括推進セミナー



1. 会社概要

2021年5月28日

- 2. デニーズで、認知症本人ミーティング
 - (1)認知症本人ミーティングとは?
 - (2) 認知症本人ミーティングを開催するまで
 - (3) 認知症本人ミーティングを開催して
 - (4) 今後の取り組み









会社概要







セブン&アイグループのフードサービス部門を担う事業会社





社名	株式会社セブン&アイ・フードシステムズ	
	(Seven & i Food Systems Co., Ltd.)	
代表者	代表取締役 小松 雅美	
住所	■二番町本部	
	〒102-8415 東京都千代田区二番町4番地5	
	■南越谷事務所	
	〒343-0821 埼玉県越谷市瓦曽根2丁目9番16号	
設立	2007年(平成19年)1月10日	
資本金	30億円	
売上高	73,868億円(2020年2月期)	
従業員数	16,488名(正社員12,577名 パート社員15,231名)	
		(2020年2月末現在)
店舗数	レストラン事業	383店
	ファストフード事業	54店
	コントラクトフード事業	242店
		(2020年2月末現在)

事業紹介

セブン&アイ・フードシステムズでは、レストラン、ファストフード、コントラクトフードの3事業を基本とし、フードビジネス全般を手がけております。安全・安心、そして食を通しての健康を原点とし、各々の事業、ブランドにおいて、お客様ご支持いただける、「最高の味」「感動のサービス」「食の快適空間」をご提供出来るよう、日々、努めて参ります。





















宅配・テイクアウト専門店 デニーズ南越谷店

越谷市瓦曽根2-9-16 県道足立越谷線(旧日光街道)沿い 東武伊勢崎線 新越谷駅、JR武蔵野線 南越谷駅 徒歩10分









「認知症本人ミーティング」とは

■本人ミーティングのねらい

本人ミーティングは、認知症の人の視点を重視したやさしい地域づくり を具体的に進めていくための方法です



①本人同士が出会いつながる

②自らの体験・希望、必要としてい ることを率直に表す

本人自らが参加

本人ミーティング

④本人が地域づくりに参画する

③一人ひとりが生きがいをもってよりよく暮らして行くきっかけにする

⑤行政や関係者が本人の声を聴く

⑥本人の体験や気持ちの理解を深める

認知症とは?

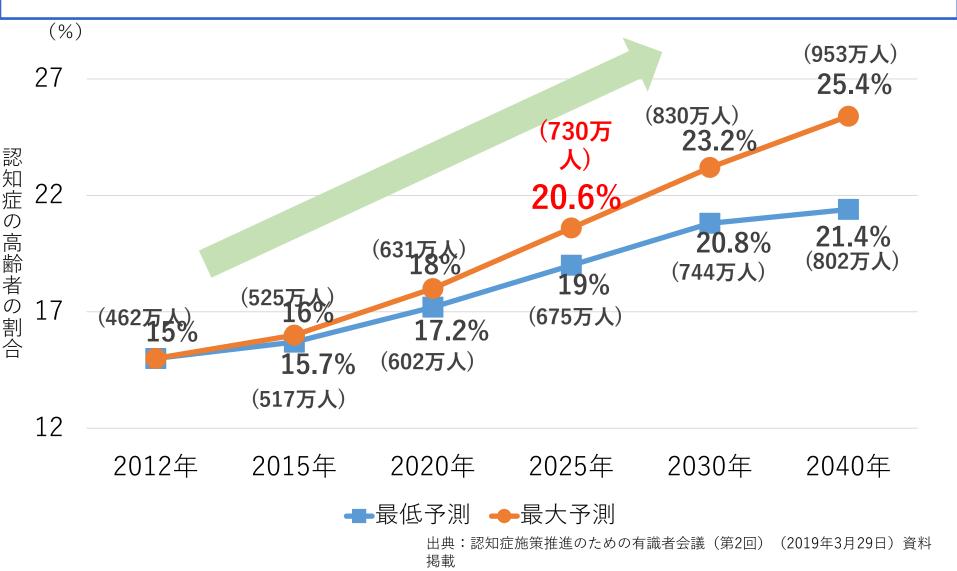
いろいろな原因で、脳の細胞が死んでしまったりして 脳の指令塔の働きに不都合が生じ、様々な障害が おこり、生活する上で支障がおおよそ6ヶ月以上継続 している状態。

「認知症」は病気による症状のこと



認知症の人の数

2025年 認知症の方は**高齢者の2割(約700万人)**に達すると予測



作成

「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」より

認知症の方の要望

「どのような人に認知症に対する知識を もっと持ってもらいたいと思いますか?」 という質問に、認知症の方が答えた割合



スーパーや商店の 店員 64%



一般住民

63%



銀行や郵便局の 職員 58%



駅の係員やバスの 運転手 57%

私たちへの要望は大きい

認知症を「自分ごと」として考える必要が

ある

出典:厚生労働省老人保健健康増進等事業

わたしに関することは、どんなことでも最初にわたしに聞いて下さい。わたしのことを、わたし抜きに決めないでください。

クリスティーン・ブライデン(オーストラリア在住)

厚生労働省

本人の声を起点とした認知症地域支援体制づくりガイド (都道府県・市町村向け)より

2020年7月 千代田区在宅支援課様より区内店舗での開催をお声かけいただく

千代田区「実桜の会」(みおのかい)

認知症と診断された方(認知症の心配なご本人)や認知症の方を介護されているご 家族が、それぞれの席で日ごろの想いや悩みなどを話し合う会。

区内外を問わず参加可能。

認知症の方皆さんそれぞれに、 それぞれの想いがある



集い・通いの場を提供することに 地域での存在意義があり、 社会課題解決の一助となる

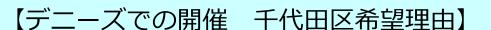
■千代田区「認知症本人ミーティング」の取り組み

第1回 20年2月19日(水)いきいきプラザー番町 (区の福祉施設)に始まり、7月までに2回開催の実績 (8月に区の高齢者施設にて第3回目を計画)

第4回告知チラシ (8月末 区のHP掲載)



第4回 20年9月9日 (水) デニーズニ番町店



- ・現状の開催場所が区の施設や高齢者施設などで入りづらい印象をなくしたい
- ・気軽に参加していただきたい
- ・スナック菓子、お茶菓子やペットボトルではなく、違うものが食べたい

■開催にあたり7月29日の 認知症本人ミーティングを視察



■当事者ご本人とスタッフ



■ご家族とスタッフ



■ 開催にあたり、8月6日(木)デニーズニ番町店 会場下見・打ち合わせ実施



- ・席のレイアウト
- ・お会計について
- ・準備器具・備品など

■開催にあたりデニーズニ番町店従業員の事前教育を実施



■8月13日(木)

デニーズニ番町店従業員3名に 「認知症サポーター研修」を実施 (開催時間帯の平日14時~18時 に勤務の多いメンバーの選定)

研修終了後 3名の感想

「意外と知らないことが多かった、たいへん勉強になった」 「ロールプレイで学んだことが今後の仕事の中で役に立つと思う」 「認知症の知識をきちんと学べた、参加して良かった」

■新型コロナウィルス感染防止対策立案

- ① 入店時のアルコール消毒
- ② 入店時の検温
- ③ 参加人数制限 チラシに記載
- ④ マスク着用(飲食中以外)
- ⑤ アクリル板設置(千代田区 持参)
- ⑥ 大声での会話をご遠慮いただく
- ⑦ 座席の配置 変更
- ・感染発生時の情報提供

(参加者の連絡先をいただく)



「認知症本人ミーティング」を開催して

■ 千代田区「認知症本人ミーティング」デニーズニ番町店 初開催

開催日: 9月9日(水)15:00~16:00

第4回「実桜の会」(みおのかい)

参加人数: ご本人: 4名+2名オンライン参加

ご家族 : 3名

スタッフ: 千代田区 7名+品川区・世田谷区3名







- ・アルコール消毒・検温
- ・個人の連絡先をうかがう

「認知症本人ミーティング」を開催して

- ■ミーティング終了後に千代田区スタッフと反省会を実施
- ■良かった点
- ・皆さんの**笑顔がいつもより多く**「ミーティング」としてかしこまった感じではなくごく自然な会話ができていた。
- ・街の普通の店舗で開催が出来てありがたい、初めての方でも気軽に参加していただきたい。
- ■問題点、改善点
- ・今までは無かった飛沫防止用アクリル板を使用したため、正面の方との会話が難しく、 横の方との会話が多くなってしまった。
 - ⇒テーブル全員が食べ終わった後はマスクを着用し、アクリル板を外し全体の会話が できるようにする。
- ■デニーズの改善点⇒1人目の提供から最終提供までに約17分ほどの時間差があった。 (デザートオーダーが集中したため)提供までの時間を短縮できるようにする

「認知症本人ミーティング」を開催して

■20年9月にスタート デニーズでは5回開催

	2020	年9月	2020	年10月	2020年12月	2021年2月	2021年5月		
開催場所	DNY二番町店		DNY二番町店		DNY二番町店	DNY二番町店	DNY二番町店	計	
当事者(名)	ご来店	オンライ ン参加	ご来店	オンライ ン参加	ご来店	ご来店	ご来店		
	4	2	6	1	4	4	4	25	
ご家族 (名)	3			3	2	4	3	15	
スタッフ (名)	10		7		13	15	11	56	
参加者計	19		17		19	23	18	96	

ご利用いただきありがとうございます!



■品川区への拡大

- ○3月 品川区でテスト開催のため宇津木地区長が事前に千代田区の会を見学
 - ・品川区のスタッフとご挨拶やお打ち合わせを実施
 - ・注文から提供までのオペレーションなど店舗が実施することを確認



■品川区への拡大 → 6/22 (火)のテスト開催を目指して

■認知症サポーター研修開催(宇津木地区長、青木店長と従業員5名受講) 3月2日(火)大井町駅前店にて ロールプレイング実施







【青木店長コメント】・4年前に研修を受けましたが 忘れていたことも多く、再度学べてよかった。 地域の皆様に愛される店舗作りに努めます 研修後、講師から認知症 サポーターの証であるバッチ とリングをお渡しする

■ 2021年度 上期計画

①千代田区内で店舗拡大

- ・6月9日(水)開催予定 デニーズ神田小川町店 (5月に従業員さんへ認知症サポーター研修を実施し認知症の理解を深める)
- ・二番町店、神田小川町店、区の施設 3か所でローテーション開催希望 (例:5月デニーズ二番町店、6月デニーズ神田小川町店、7月区の施設)

②他の地域へ拡大

- ・品川区:5月25日(火)開催予定(毎月開催希望)デニーズ大井町駅前店 厚生労働省任命 認知症本人希望大使 柿下様参加(品川区在住)
- ・大阪府堺市:開催日未定(6月初旬打合せ予定) デニーズ中百舌鳥店

- ・地域のみなさまに愛される地域密着型店舗の構築
- ・従業員のモチベーションが上がる活動の継続

- ■今後について・まとめ
- ■安全・安心に留意しながら自治体との連携を継続・拡大
- ■自治体と一つの連携活動を通じて「**食育スクール開催**」や「**フードバン** ク寄贈」など他地域へのアプローチ及び他の活動へ拡大展開を図ります

いつの時代もお客様の近くで

- ・地域のみなさまに愛される地域密着型店舗の構築
- ・従業員のモチベーションが上がる活動の推進

ご清聴、ありがとうございました





